

雑固体廃棄物処理施設の概要等について

泊発電所の雑固体廃棄物処理施設の設置に伴う原子炉設置変更許可申請について、2018年4月に原子力規制庁と面談を実施しています。雑固体廃棄物処理施設について、施設の概要等を取りまとめました。

1. 設置の目的

泊発電所において発生した放射性固体廃棄物はドラム缶などに詰め、発電所敷地内の固体廃棄物貯蔵庫に貯蔵保管している。

今後、放射性固体廃棄物を青森県六ヶ所村の日本原燃(株)低レベル放射性廃棄物埋設センターに搬出し、埋設するためには、雑固体廃棄物を分別し、必要に応じて切断や圧縮減容を行い、モルタル充填固化体を製作する必要があることから、雑固体廃棄物処理施設の設置を計画している。

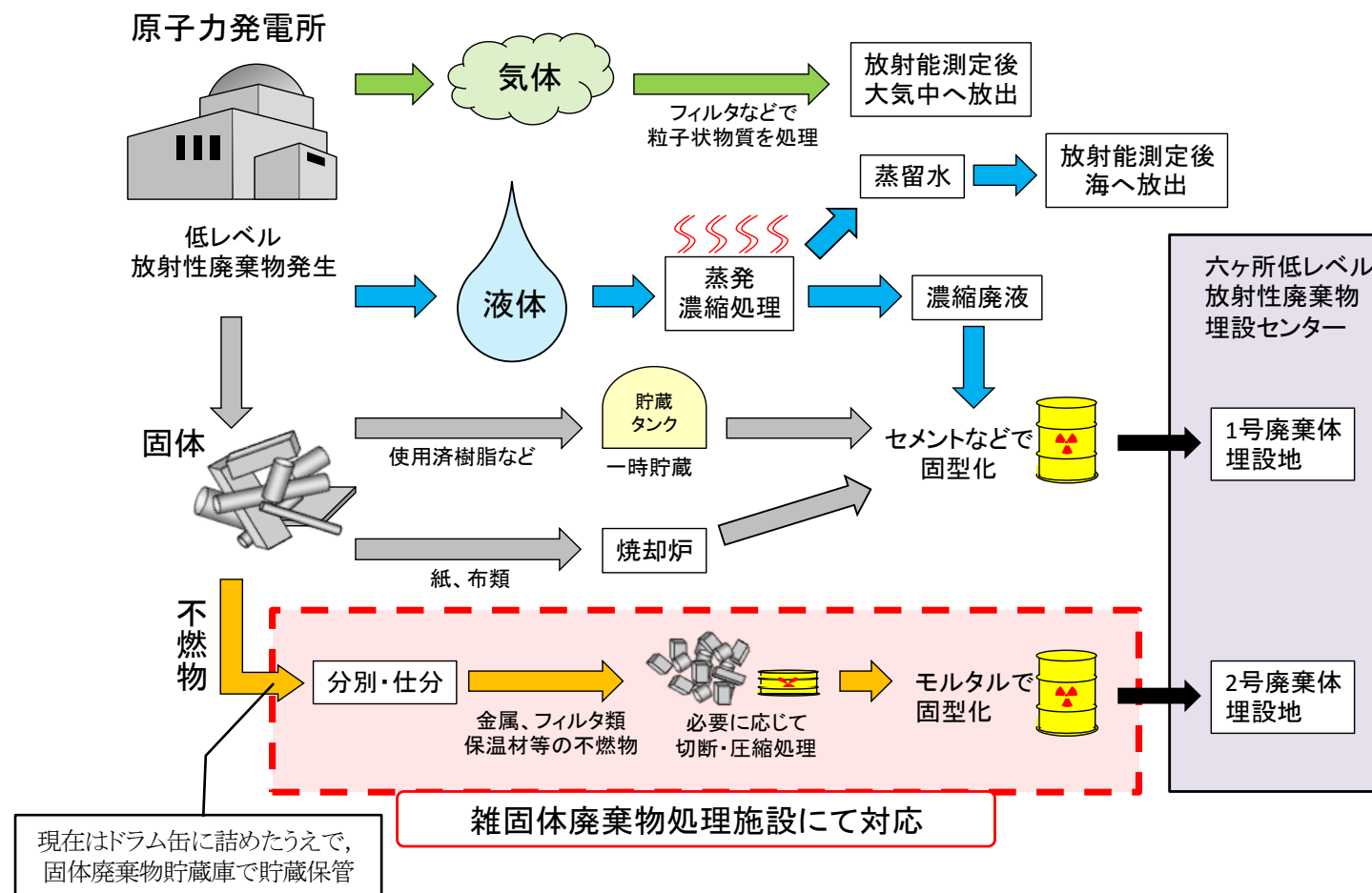


図-1 泊発電所における低レベル放射性廃棄物の処理フロー概要図

2. 設置場所

雑固体廃棄物処理建屋は、運用面等を考慮して固体廃棄物貯蔵庫近傍（標高 39m）に建設する予定である。設置場所周辺には緊急時対策所が設置されており、地震に伴い雑固体廃棄物処理建屋を倒壊させないことにより、緊急時対策所へ波及的影響を及ぼさないようにする計画である。

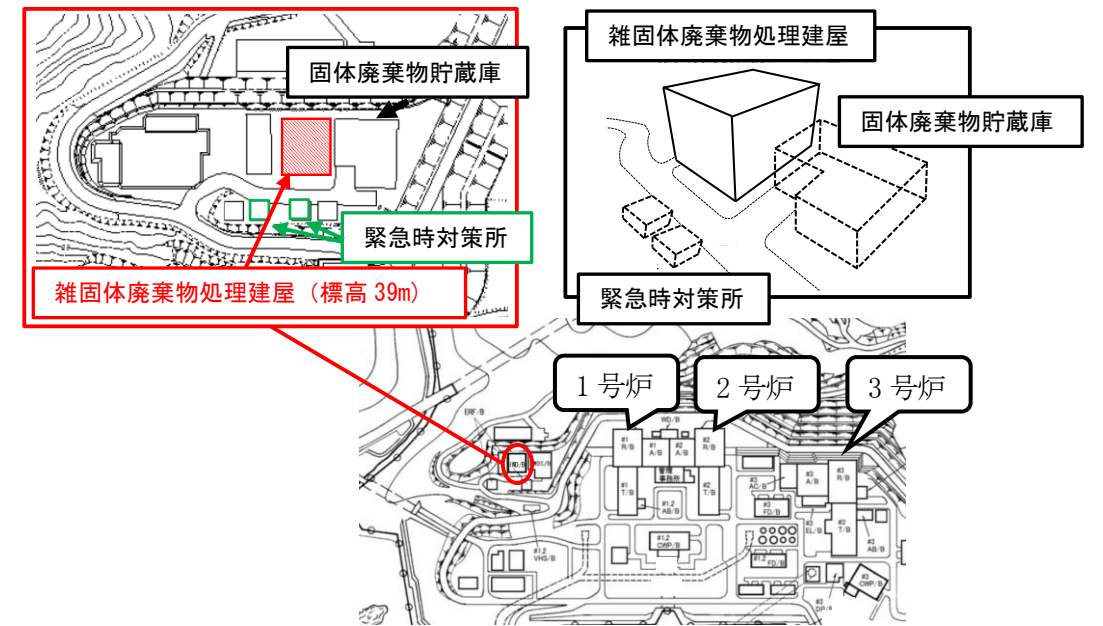


図-2 雑固体廃棄物処理建屋の設置予定場所